

。正しき人の天の勝あはば天の勝は男の勝なり。
。月の世の流にゆく

。邪なる人云ふべしに金力あり、威力あり、大衆あり。正しき人を改
めて改めて、正しき人の勝を属するに改めよと。

改めらるる日を長とせば正しき人の勝は一日属するを日のばすべし。
改めらるる日を長とせば正しき人の勝は二日属するを二日のばすべし。
改めらるる四日を長とせば正しき人の勝は四日属するを四日のばすべし。
べし。

日は定しるる天に影るが、水は自ら流る。正しき人の勝は日の
天にうつり、水の流るが如く自らあり。如何に思ふべしとす。

降らんとすも之を去るるとす。能はず。自ら去るるとす。能は
ざるものと人ぬんぞ去るるとししむべけんや

世皇は七城を移すき、五方オハセ。うこつドを移るる宇宙の
状觀を許すのるに流あせしむるの故能はずと見も日を晴

くして水を一取にといふるも能はず。日の流るるあるは日の
性あればあり。日の故皇ありとし午の五方オありとし物の性

を存すの力あり。性も存すのちる時直る物は改に其身を存せず。
正しき人の勝を属するに其人は改に正しこのらず。邪の人
あり。

群言自勝たり。正義をいひて以上の定意とある。正義は天地のるに
勝る大法あり。まをよまずらよを知らざるもの一念の勝る心を

地したる昭々たるものと天地靈化の柔とお解し。一指を挙げて天を指すお

④ 正大の柔は大空に漲る。一可の庸衆の喧嘩し、汚穢し、小知

や術を逞じて一杖一ふ、乃至一刺の計をめぐらし得てくる女ま

るはまろく蟻群の如く微弱なる。正大の柔来つて世帯を喰くと

き瞬間として靈界の表面より焦熱地獄に向つて墮落し来

る。正義の士は彼等を踐しむのみ。彼等を軽しとあするのみ。彼等の

力了と稱して世界に生かすを不思慮と思ふのみ。百万の小人あり

と雖も一正義の士をたるともすべからず。

×人[○]ニの高貴がうれしルノヲ[○]嫉しキ[○]ニ思へルハアリ。人に尊敬せうしルヲ疑有シト思へルハアリ。人におん成満タルヲヨキ[○]らト思へルハアリ。今ニシテ思へば皆思ナルヲナリ

×小人に可愛がうれしハ君子の耻辱あり。小人に尊敬せうしルハ君子の耻辱あり。小人としよつて内傷をば君子の耻辱ナリ。小人は君子ヨリ輕蔑せうん可キ運命ヲ以テ世界ニ生し出[○]テらん者ナリ。小人ヲ輕蔑するは君子の業我[○]弱ナリ。天下ニ嫉しキ[○]のみアリ。小人ヲ輕蔑する[○]是あり。

×小人ノ尤モ眞又ふるものは其枝[○]柄の因果をせざる時にあり。小人をして日夜に奔走せしめ、日夜に勞苦せしめ、十年の功を徒勞に傷せしむるを以て君子は一大愉快とあす。是[○]君子の小人に對する輕蔑を



表する唯一の良法あり。

×小人十年二十年の勞を一擧頭に弾じ盡しうるは君子の肩は始めに愁を閉く。破款して始めに首をに入るをばへし。

X小人は死ぬべきもの、もしくはは賤しむべきものあり。小人は自己の(半面)を知らず、これは只他を恐れしむるの仕儀のみありと思へり。正ん

を知らん。は仕儀ある。彼もまたも蓋地の輕蔑を招きつ、あるを。

X自己の技倆が他の輕蔑を招きつ、ある、他の恐怖を起して、あるのをさへ并せぬ程の者あれば、只一圖に自己の技倆を弄して、他人をして恐怖せしむるの様に至るべしと信ず。考へて、まて来るべき者を待つは、まて於てするも、終に於てするも、まてあり。と、いり、己の技倆が他の輕蔑を招きつ、ある際に一止のを止めさせ、人は、まてて、恐怖の念とあしおべしと、なつ、あは、尻より、あつ、米粟、俣を、馳めて、なれば、巨に、脅めに、まて、る、機、も、あつ、へしと、決心、せ、る、もの、如し。

X小人の死ぬべきは、何をあしこも、懼うらぬ、故あり。小人の賤しむべきも、亦、何をあしこも、懼うらぬ、故あり。るは、同じ、おと、おと、により、こは、恐れ、れ、られ、又、おと、により、こ、賤し、め、る。之を、混同、する、は、小人の、眼が、股、分、んに、着、いて、居、る、故、あり。

X小人ヲ十個集むれば十個の小人を産す。百個集むれば百個の小人ヲ生ズ。百個十個に至つて正義ヲ恐怖せしメ得ルト思フハ天下ノ泥士ヲ積ンテ珠玉トナシ得ベシト誤解セルガ如シ

小人ヲ遇スルニ君子ノ道ヲ以テスレバ君子ハ常ニ敗ル。小人ヲ遇スルニ
 小人ノ道ヲ以テスルハ或ハ勝テ或ハ敗ル。小人ヲ遇スルニ小人以テ
 道ヲ以テスルハ小人ハ始メテキヲ東ニテ己ハベシ。

小人ノ道ハ他ナシ。小人ヲ欺クノ道ハ他ナシ。小人以テ上ノ頭腦
 ヲ以テ小人ヲ欺クノ道。小人ハ己レノ智ノ程度ヲ知ラズ。多ク局
 ノ度ヲ以テ小人ヲ欺クノ道。小人ハ己レノ智ノ程度ヲ知ラズ。多ク局
 ヲ知ラズ。以テ故ニ小人ヲ服スルニハ多クノ年ノ松木ヲ要ス。十年モシテ
 ハ三十年乃至五十年ノ死ニ至ラテ始メテ彼等ヲ服セシムル
 ヲ得ベシ。

小人ヲ欺クノ道ハ他ナシ。小人ヲ欺クノ道ハ他ナシ。小人以テ上ノ頭腦
 ヲ以テ小人ヲ欺クノ道。小人ハ己レノ智ノ程度ヲ知ラズ。多ク局
 ノ度ヲ以テ小人ヲ欺クノ道。小人ハ己レノ智ノ程度ヲ知ラズ。多ク局
 ヲ知ラズ。以テ故ニ小人ヲ服スルニハ多クノ年ノ松木ヲ要ス。十年モシテ
 ハ三十年乃至五十年ノ死ニ至ラテ始メテ彼等ヲ服セシムル
 ヲ得ベシ。

小人ノ道ハ他ナシ。小人ヲ欺クノ道ハ他ナシ。小人以テ上ノ頭腦
 ヲ以テ小人ヲ欺クノ道。小人ハ己レノ智ノ程度ヲ知ラズ。多ク局
 ノ度ヲ以テ小人ヲ欺クノ道。小人ハ己レノ智ノ程度ヲ知ラズ。多ク局
 ヲ知ラズ。以テ故ニ小人ヲ服スルニハ多クノ年ノ松木ヲ要ス。十年モシテ
 ハ三十年乃至五十年ノ死ニ至ラテ始メテ彼等ヲ服セシムル
 ヲ得ベシ。

(1)

× 神ハ人ヲ理想ナリ。理想トハ二個ノ異ナル義ヲ含ム。自己ノ有スルニテ
 ノ良好ナルトシテ自惚ノ點微鏡ニカケテ見タル片ハ光陸離ナル神ト
 ナリ。是ハ一義ナリ。モハハレガ父母ヲ完キ人ト思フ。レガ君ヲ完キ人ト思フ
 其レガ隣人ト友ヲ甚ダシキ陷缺人ト思フ。完カラズ、陷缺ア
 リトハ、レヲ思フノ点ニ於テ完カラズナリ。此不平ヲ世ノ中
 ニテ医セント欲シテ得ズ、レヲ得ズ、人間以テ神ヲ假定シテ慰ハ務トス。
 是神ノ第一義ナリ。

此故ニ神ハ尤モ大ナル自惚ヲ有スル人間ガ作リタルカ又ハモ人ヨリ差
 待セラレタル人間ガ腐穢ヲホルみナニ作リタル者ナリ。
 前者ノ極端ニ遠スレバ自己即チ神ナリ。釋迦是ナリ。後者ノ極
 端ニ至レバ自己即チ神ノ子ナリ。耶穌是ナリ。

× 自己ヲ抱ホトシテ自己ガ人ニ對スルノ理想ヲ表スル時ニ自己は即
 是神ノ形式ニテアラル。他ヲ抱ホトシテ他ガ如何ニ自己ニ對シ
 テタルハ、カノ理想ヲ表スル時自己は即是神ノ子ノ形式ニテ
 アラル。

× 自己神トシテ天上天下唯我独尊ナリ。自己神ノ子ナレバ天上天下
 依拠スル所アリ。

× 前者ヨリ云ハレバ父母ノ威モ、君主ノ權モ、陶米ノ力モ皆●が膝下ニ
 跪クベキ者ナリ

× 後者ヨリ云ハレバ父母如何ニ無理ナルモ、君主如何ニ日暮るニナルモ、隣人
 朋友如何ニ憂情ナルモ、日暮ルニ依拠スル所キ神アレバ故ニ其レモ亦
 跪クベシ

(2)

× 此兩者一尚ニ彷徨スル者ヲ覚エザル者ト云フ。即ち甘んじザル子ト云フ。是ラガル者ト扱ひザル子ト意義余ク同シキ異ニシテ其不幸ナルハ即チ一ナリ

× 世界ニ自己ヲ神ト主ル程ノ自惚者少ナシ。又自己ヲ神ト主ル程ノ馬鹿者少ナシ。故ニ萬人ノ人ニ遇ハバ萬人ナカク皆不幸ナリ。

× 不幸ハ彼等ノ尤モ厭フ事ナリ。ハ故ニ何等カ一方便ヲホメテハ不幸ヲ逃レント欲ス

× 不幸ヲ逃レント欲スルノ極ニ甘んじ大ナル自惚者トナリ。又大ナル馬鹿者トナラザル可ラズ

× 自惚マハ明カラナリ。不幸ヲ甘ンズルカ。自惚者ト馬鹿者ニ強ヒテナルカ。

× 大多數ノ人ハ不幸ニモ甘ンゼズ。又自惚レタリ馬鹿ニナリキル程ノ決心ナシ。

× 是等ヲ常ノ人ト云フ

× 不幸ニ甘ンズル人は昔ヨリ古人ニ至リテ只一ノストイック派ノ學者アリ。日本ノ武士亦之ニ近シ。